

# 「未来の教室」実証事業中間報告： 鶴岡リビングラボ（湯野浜100年株式会社）

類型a

類型b

類型c

2次公募

## 事業概要

### 鶴岡リビングラボ×学び (温泉街のオープンイノベーション)

リビングラボ化された温泉旅館街（鶴岡リビングラボ）を舞台にして、「旅館の労働者の高齢化への対応（効率化、生産性向上）」や「旅行スタイルの新しいカタチ（湯治、長期滞在化）」という具体的なテーマを題材にしたイノベーション人材教育プログラムを開発・実証します。

また、プログラムを型化することで、全国にある温泉旅館街に展開可能な人材教育プログラムを目指します。

## 進捗状況

### 7月

- キックオフイベントへの参加
- 事業実施にむけた各社との打ち合わせ（再委託：先産総研、場所文化フォーラム、アールアンドディーアイスクエア、外注先：Institution for a Global Society社、その他：ヒューマノーム研究所）

### 8月

- 事業実施にむけた各社との打ち合わせ（再委託：先産総研、場所文化フォーラム、アールアンドディーアイスクエア、外注先：Institution for a Global Society社、その他：ヒューマノーム研究所）
- 実施スケジュールの調整と内容検討
- 経理説明会への参加

### 9月

- 事業実施にむけた各社との打ち合わせ（再委託：先産総研、場所文化フォーラム、アールアンドディーアイスクエア、ヒューマノーム研究所等）
- 実施スケジュールの調整と内容検討
- 8月中旬から9月上旬賛同企業の募集、9月12日ガイダンスを実施

# 「未来の教室」実証事業中間報告： 鶴岡リビングラボ（湯野浜100年株式会社）

類型a

類型b

類型c

2次公募

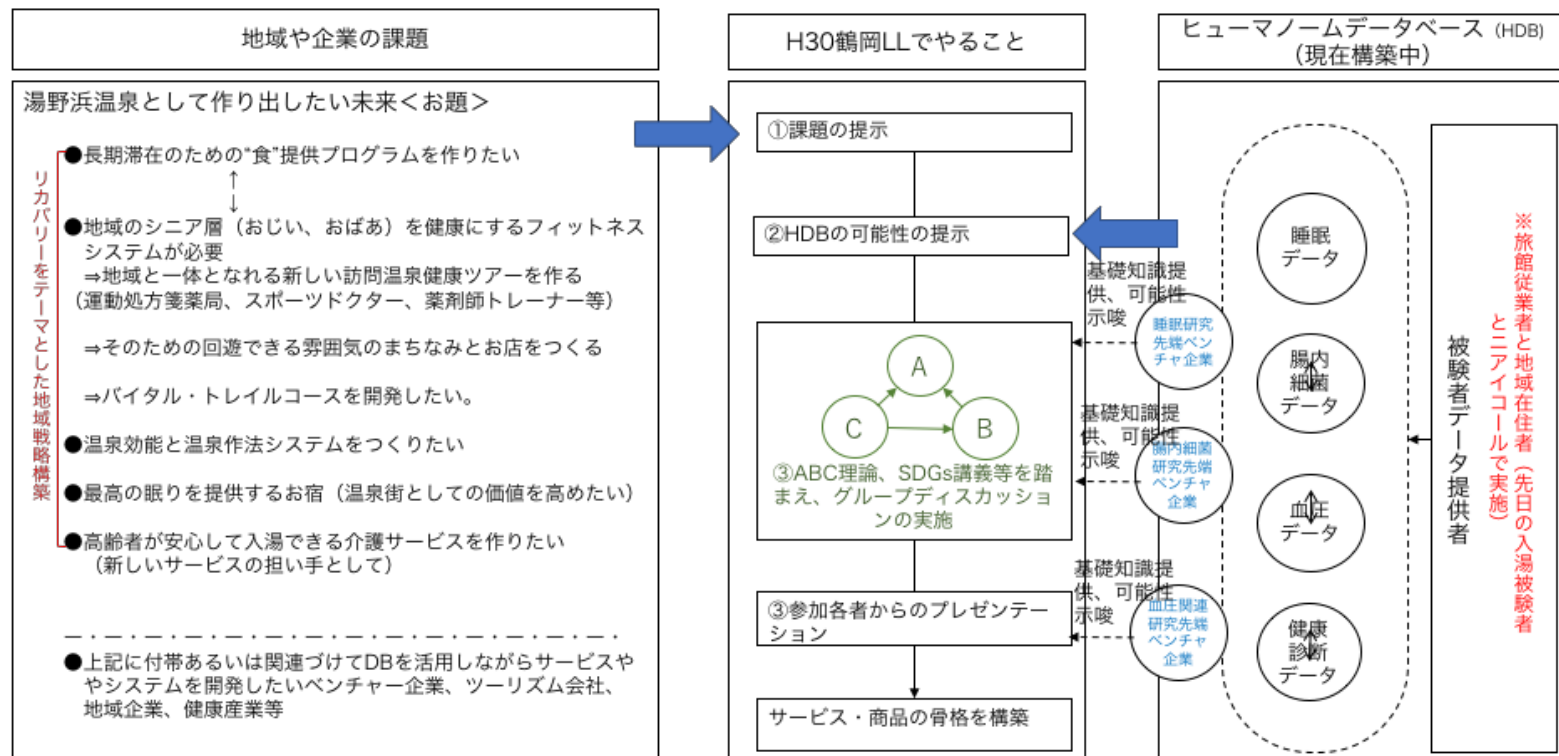
## 今後の展望

### 今後のスケジュール

10月23日 (1日)	10:00-12:00 これまでの活動や検討の共有、ふりかえり（現地視察等）【湯野浜100年】
	13:00-13:30 評価測定等（説明含む）【産総研】
	13:30-14:00 ABC理論の講義【産総研】
	14:00-15:30 ヒューマノームデータベースについて【HN研究所】 ・HDBの可能性、睡眠、腸内環境、血圧、身体測定データ取得・研究等アウトライン説明
	15:30-16:30 グループディスカッション等
11月14日-11月15日 (1泊2日)	13:00-14:00 今後の方向性について【湯野浜100年】
	14:00-18:00 ヒューマノーム関連ベンチャーによるレクチャーと グループディスカッション（テーマ：食と温泉と運動と睡眠）
	翌9:00-11:30 前日の議論を受けてのグループディスカッション
12月20日 (1日)	10:00-11:30 SDGs教養コース【産総研】、他
	13:00-16:00 グループディスカッション
1月16日-1月17日 (1泊2日)	13:00-15:45 グループディスカッション
	16:00-17:30 参加表明、発表
	翌9:00-9:45 評価測定等（説明含む）【産総研】
	翌10:00-11:30 次年度の展開構図共有（HDB第2段階との運動）

# 参考①) 鶴岡リビングラボ (湯野浜100年株式会社)

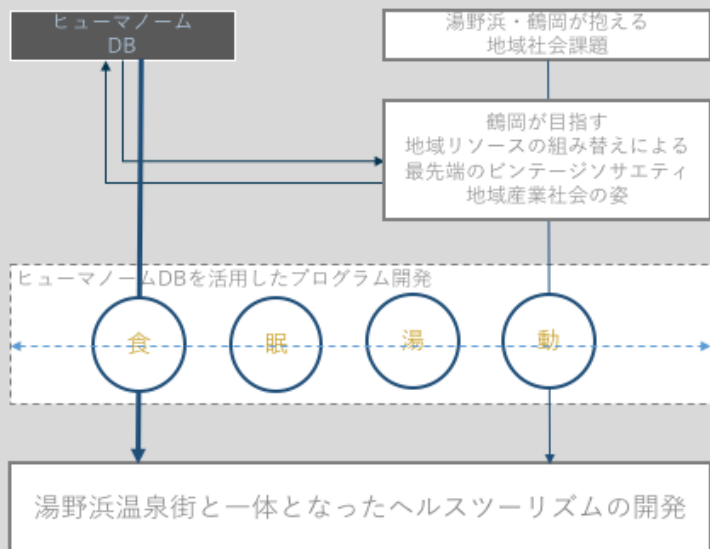
未来の教室実証事業 (鶴岡LL) 「学びの基本構成 (案)」



## 参考②) 鶴岡リビングラボ (湯野浜100年株式会社)

### 全体像

本年度、鶴岡リビングラボにて執行していく全体像をオーソライズした。



### 今回の学びの体系

#### ①ヒューマノームデータベースが切り開く未来の暮らしと健康

本年度ヒューマノーム研究所（鶴岡市本社）が開発を進めるヒューマノームデータベースの正体。計画している内容。これによって可能になること。未来の可能性。地域の幸せなど。同研究所代表の井上浄氏よりプレゼンテーション。

#### ②ABC議論を活用した課題設定と解決策、行動計画

湯野浜が目指すピンテージノサエティの実現に対し、ヒューマノームDBをどのように活用していくか。より個別具体的な目指す社会像をイメージする。それを踏まえて各旅館が展開していく旅館ごとの新規事業や湯の浜百年株式会社が実施していく事業をイメージする。

#### ③各プログラムの基本方向

11月14、15日でヒューマノームデータベースを共同開発するベンチャー企業も交え、プログラム開発ならびにヒューマノームデータベースを活用して作り出せるビジネスをオープンイノベーションで深めていくが、その検討の方向性を議論する。